

- 1 単元名 分かりやすい説明の仕方を見つけて、説明書を作ろう
- 2 教材名 「しかけカードの作り方」  
「おもちゃの作り方」(光村図書 2年下)
- 3 単元の指導目標  
【国語への関心・意欲・態度】
  - ・事物の作り方に興味をもち、書かれていることを読み取ろうとしている。
  - ・学習したことを生かして、分かりやすく事物の作り方を説明しようとしている。【読む能力】
  - ・時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体をとらえることができる。〔Cイ〕【書く能力】
  - ・事柄の順序に沿って、簡単な文章を書くことができる。〔Bイ〕【言語についての知識・理解・技能】
  - ・敬体で書かれた文章に慣れることができる。〔イ(キ)〕

#### 4 単元を貫く言語活動の特徴

本単元を貫く言語活動として、自分が作ったおもちゃの説明書を分かりやすく書くという活動を位置づけた。教材文から「分かりやすい説明書」のあり方を学び、それを生かして説明書を記述させることで、〔Cイ〕〔Bイ〕を実現するようにしている。

#### 5 単元について

##### (1) 児童について

児童は、二年上「たんぼぼのちえ」では、植物の知恵や不思議を紹介するために、知恵や不思議を書き抜いたり、自分の思いや考えをまとめたりする活動を行った。また、「どうぶつ園のじゅうい」では、文末表現や主語に気をつけて、獣医の仕事とその工夫をわけて読み取る活動を行った。これらの学習を通して、内容の大体をとらえることができるようになってきている。これまで、時間的な順序で書かれたものを読むことはあったが、「手順を読む」ことは本単元が初めてとなる。文章に内在する事柄の順序などに加え、どのように文章を構成しているかという文章表現上の順序もとらえさせたい。そして、自分が作ったおもちゃの説明書を書かせることで、事柄の順序に沿いながら、内容のまとめりごとに配置することを意識させていきたい。

また、昨年度の標準学力調査の結果から、「事柄の順序を考えながら内容を読む」問題が全国平均を下回っていた。また、「2つの文章の共通点を読みとる・比べて読む」問題も下回っていた。この単元でも、以上のことと関わらせながら、更なる定着を図りたい。

##### (2) 単元構成と指導にあたって

本単元では、「しかけカード」という児童にとって魅力的な題材についての説明書を読み、分かりやすい説明の仕方についてまとめさせる。それを生かして児童自身が作ったおもちゃの説明書を書かせる。さらに、作り方などが書かれた本やテキストを並行読書したり、友達の自由研究を見たりすることで、誰にでも分かる説明書にするためには必要な要素があることに気付かせる。

教材「しかけカードの作り方」は、実際の作業を伴うため、児童一人一人が楽しく読み取りに参加できる。また、順序を表す接続語や写真との対応、具体的な数値など、分かりやすい説明の工夫が取り入れられている。自分が作ったおもちゃの説明書を書く際には、「しかけカードの作り方」や「けん玉の作り方」、並行読書の文章で読み取った書き方の工夫を生かして書かせる。その際に、他人に作ってもらおうという活動を取り入れ、自分の書き方の善し悪しを振り返らせる。これらのことから「事柄の順序に沿って構成を考える」力が付くと考え、この単元を設定した。

第一次では、実際のしかけカードを見せ、説明書の読み取りに興味をもたせる。そして、全体で確認しながらしかけカードを作る作業を行う。その際に、説明書には読み手が分かりやすい工夫があり、その工夫を読みとろう、という課題意識を持たせる。

第二次では、書き方の工夫について読み取らせる。そのために、読み取る視点をはっきりするよう、よい説明書のモデルとそうでないものを比較させる。また、実際に作業をさせることで、説明されていることと自分のイメージとが一致できるようにする。さらに、並行読書をしている本などにも書き方のひみつが使われていることを確認し、第三次での説明書作りにつなげ、一般化を図る。

第三次では、二次で読み取ったことを生かして説明書を作る。説明書を作る実物を置きながら書かせることで、手順をイメージしやすくする。また、手順を意識させるために、一つの作業を一枚のカードに書き、順序よく並べ、必要なものを選ぶ、という活動を行う。そして、できあがった説明書で友達におもちゃを作ってもらおうことで、自分の書き方の善し悪しを振り返らせる。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・おもちゃの作り方などについて説明した本や文章を選んで読もうとしている。	・手順・事柄の順序などに気を付けながら、文章を読んでいる。[Cイ]	・初めから終わりまでを、内容のまとまりごとについて分けて配置し、手順に沿って文章の構成を考えている。[Bイ]	・文末の表現に注意して、敬体で書かれた文章に読み慣れている。[イ(キ)]

7 単元計画 (全9時間)

次	時	主な学習活動	指導の手立て	評価	
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりにくい説明書のモデルを見て、しかけカードを作る。</li> <li>・説明書を作る見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が作成したしかけカードを見せ、興味をもたせる。</li> <li>・説明書とは、作り方が分かりやすく書かれたものであることを確認する。</li> <li>・教師が作成した説明書を見せる。上手く作れないという課題意識をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関しかけカードの作り方に興味をもち、書かれていることを読み取ろうとしているか。</li> </ul>	
説明書の書き方のひみつを見つけて、あそび祭りでつくるおもちゃの説明書を作ろう。					
二	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時で提示した説明書のモデルと教材文を比較し、分かりやすくする工夫を読みとる。</li> <li>【情報の取り出し】</li> <li>・教材文を読み、カードの土台を作成する。</li> <li>・分かりやすい説明書を作るためのひみつをまとめる</li> <li>【解釈】</li> <li>・並行読書の本で読み取った工夫を確認する。</li> </ul>	並 行 読 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示する文章を4～6段落に限定し、写真を用いていることや、具体的な数値が用いられていることに着目させる。</li> <li>・ペア、グループで交流し合い、様々な表現に触れ、一般化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読写真や、具体的な数値を用いて説明するよさに気付くことができたか。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時で提示した説明書のモデルと教材文を比較し、分かりやすくする工夫を読みとる。</li> <li>【情報の取り出し】</li> <li>・教材文を読み、カードの飾りを作成する。</li> <li>・分かりやすい説明書を作るためのひみつをまとめる</li> <li>【解釈】</li> <li>・並行読書の本で読み取った工夫を確認する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示する文章を7・8段落に限定し、補足説明があることで、失敗しにくくなっていることに気付かせる。</li> <li>・ペア、グループで交流し合い、様々な表現に触れ、一般化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読説明をする際に、間違いやすい箇所などで補足説明をするよさに気付くことができたか。</li> </ul>
	4本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「けん玉の作り方」をもとにした、二つの説明書のモデルを比較し、分かりやすくする工夫を読みとる。</li> <li>【情報の取り出し】</li> <li>・分かりやすい説明書を作るためのひみつをまとめる</li> <li>【解釈】</li> <li>・並行読書の本で読み取った工夫を確認する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの説明書のモデルの違うところに視点を当て、順序よく書かれていることに気付かせる。</li> <li>・ペア、グループで交流し合い、様々な表現に触れ、一般化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読順序よく書くよさに気付くことができたか。</li> </ul>
三	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あそび祭り」でつくるおもちゃの説明書を書くために必要な項目について考える。</li> <li>・「前書き」「材料・道具」について書く。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に説明書を書くおもちゃを目の前に置きながら、作業を進める。</li> <li>・二次で確認した書き方のひみつを確認しながら書かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書書き方の工夫を使って、必要な項目を考え、文章を書くことができたか。</li> </ul>
	6・7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「作り方」「遊び方」「使い方」について書く。</li> <li>・内容に合わせて、挿絵を描く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの作業につき、一枚のカードに説明を書かせる。</li> <li>・カードを順序よく並べる。</li> <li>・まとめられるカードがあれば、まとめる。</li> <li>・個に応じて、写真で対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書書き方の工夫を使って、つながりのある文章を書くことができたか。</li> </ul>	
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明書を推敲する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次で確認した、書き方のひみつの視点に沿って、読み返す。</li> <li>・直す必要があるところを直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書書いた説明書を読み返し、分かりやすい表現にすることができたか。</li> </ul>	
	図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作った説明書をもとに、おもちゃを作る。</li> </ul>			
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃを作った経験をもとに、感想を伝え合う。</li> <li>・単元の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作っていて分かりやすかった工夫を交流する。</li> <li>・単元を振り返ったの感想を交流し、単元のまとめとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書説明書を読み合い、読んだ感想を伝え合うことができたか。</li> </ul>	

8 本時の指導 (4/9)

(1) 本時の目標

順序よく書かれているよさを読み取ることができる。

(2) 本時の展開

	主な学習内容と学習活動	指導の留意点と評価
導入 15分	<p>1 前時までの学習を想起する。</p> <p>2 教師作成のモデルを比較する。 ○どちらの説明書がわかりやすいですか。</p> <p>3 本時の学習課題を確認する わかりやすい説明書を作るためのひみつを読み取ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示を確認しながら、前時までの学習を想起させる。</li> <li>・ 次時から書き始める説明書を意識させる。</li> <li>・ <u>今まで学習してきたことが使われているテキストや本を紹介し合う。</u></li> <li>・ どちらも、全体で読み、実際に作りながら内容を確認する。</li> </ul>
展開 20分	<p>4 わかりやすいと感じた理由を考える。 【情報の取り出し】 ○この説明書が分かりやすいと言ったけれど、<u>どこが違うだろう。</u></p> <p>5 わかりやすい説明書を作るためのひみつをまとめる。 ○<u>みんなで見つけたちがいをもとに、わかりやすさのひみつをまとめてみよう。</u> 【解釈】</p> <p>6 並行読書をしている本で、今日見つけたひみつが使われているところを探す。 ○今日の学習で読み取ったひみつを、自分の説明書でも探してみよう。</p> <p>5 全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童から考えが出ないときには、2つの説明書の違うところに視点を当て、「順序」に目がいくようにする。</li> <li>・ <u>よいモデルにはあって、悪いモデルにはないもの、など、視点が絞れるよう補助発問をする。</u></li> <li>・ 順序よく書くこと、そのために「まず」「次に」などという言葉をつかうことを、児童の言葉でまとめる。</li> <li>・ <u>文末を「～を使う」という表現でまとめさせる。</u></li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈評価〉 接続語を使い、順序よく書くよさに気付くことができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明書や本によっては書かれていない物もある。その場合には、それに相当する物を考えさせる。</li> <li>・ ペアやグループで話し合わせ、様々な書かれ方であっても、順序よく書かれていることを確認させる。</li> </ul>
終末 10分	<p>6 本時の学習のふり返りをする</p> <p>7 次時への見通しを持つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習で学んだことを発表する。</li> <li>・ 次時では、今まで学習したことをつかって、わかりやすい説明書を作っていくことを確認する。</li> </ul>

(3) 本時の評価規準

	十分満足	概ね満足	Bに至るようにするための手立て
読むこと	順序よく書くよさだけでなく、段落ごとに書かれていることや指示語、文末表現にも気付いている。	接続語を使い、順序よく書くよさに気付いている。	モデル文との比較をし、接続語に気付かせる。文章のまとまりごとに読ませ、順序良く書かれている良さに気付かせる。

